

日本共産党区議會議員



こんにちは  
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952  
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)  
日本共産党区議団 直通3880-5770  
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

# 都市農業を 守ろう



## 日本共産党が食と農シンポ

消費者と農業者の共同で東京を農あるまちに

私(伊藤和彦)はこのほど立川市内で行われた食の安心・安全や農業振興問題のシンポジウム「東京から食と農を考える」に参加してきました。その内容をお知らせします。



豊かな可能性 政治が責任はたすとき



パネリストの(左から)古山成江、後藤光蔵、粕谷秀夫、小池晃の名氏=17日、東京都立川市

JA(農協)東京中央会が「このシンポジウムを契機に東京農業の可能性がますます広がることを期待します」というメッセージを紹介され、農業委員や自治体職員など多彩な人の参加で会場は満席でした。

**給食は産直野菜で**  
パネリストの古山成江さん(月刊「食べ物通信」編集委員・元区立学校栄養士)は、未来を託す子どもたちが健康やかに育って欲しいと有機野菜や産直果物を使用した学校給食の取り組みを紹介し、「子どもの成長には安心・安全な食料が必要」と食料自給率向上を訴えました。

**農家の割合は79%の東京、互いに知り合う大切さ**  
都市農業にくわしい後藤光蔵さん(武蔵野大学経済学部教授)は、「いまの仕組みでは一般的には農家は農地を売って相続税を払っている」と現状を紹介し専従者がいる農家の割合が79%と非常に高く、熱心な農家が担っていること。価値観の変化で都民の農

業への期待も高まり若い人にも農作業体験をしたい人が多くなっていることを指摘し、「消費者とよく知り合う大切さ」などを報告しました。

**都市農業の発展に政治が責任はたす**  
パネリストとして発言した小池あきらさん(日本共産党政策委員長・参議院議員)は、「都市農業には可能性があり、消費者と農業の共同の可能性をひろげる推進力です」「都が行ったモニターアンケートでは東京に農地を残したい都民は85%もいます。安心・安全でおいしい食べ物を地元で作ることとは、生産者の顔や息づかいも伝わり都民の願いに応えることです。都市農業を続けられるようにするのは政治の大切な責任です。」と話しました。

民主党政権の戸別所得補償は米価の保証水準が著しく低い問題点を示し、「米を作つてめし食えない」「稲作農家の労働報酬は1時間わずか179円(07年産)にすぎない」と生産コストをつぐなう価格保障を中心にして農業の維持、発展の原動力とし、所得補償で農産物の販売だけではつぐえない農地の多面的な機能を後押しするこ

とを強調しました。「なによりも農地をつぶして宅地化というやり方を大転換するためには、税制の抜本見直しが必要とされています。JAの方との懇談したときに、『会社で代替わりのときに税金を払いますか?なぜ農業は税金を払わなければいけないのか』と言われましたが、本当のそのとおりで、農地税制の見直しを明らかにしました。

輸入自由化に歯止めをかけ食料自給率を向上させると、日本共産党の農業政策を説明しました。会場からも真剣で熱気のある発言があり、有意義なシンポジウムでした。

## 生活相談・法律相談

お気軽にお電話をください。相談は無料。法律相談は弁護士を紹介します

日本共産党区議団 3880 5770  
伊藤和彦 自宅 3859 6952  
携帯電話 070-6642 2851





# 孤独死なくすとりくみ

日本共産党足立区議団は3月議会  
で都営や公社・公  
団住宅、マンションなどで痛ましい  
事態が増え社会問題となっている  
「孤独死」問題をとりあげ対策を求  
めました。

ひとり暮らしで住宅の中で誰にも  
見取られずに亡くなり、死後一定の  
期間を経て発見されるいわゆる「孤  
独死」問題は区内でもあとを絶たな

い状況です。今日の高齢者・住民が  
おかれている状況を象徴的に示す問  
題であり、政治の責任が鋭く問われ  
ています。足立区から痛ましい孤独  
死を出さない構えと実態把握、新た  
な仕組みづくりなど取り組みについ  
て質問しました。

## 「孤独ゼロめざす」区答弁

区の答弁は、「これまでいくつが  
の事業で高齢者の見守りと孤独死の

防止に取り組んできた」が、こ  
れらの制度が十分に活用されて  
いない現状もある。こうした施  
策の充実と区民への周知に努めてい  
く。「そのために平成22年度も老  
い支度支援検討委員会を継続し、施  
策の改善について検討を深め、孤独  
死防止も含めた具体的な施策を実施  
してまいります」「孤独死対策をす  
める上で実態把握は必要と考えて  
います。関係機関と調整し、孤独死  
の件数と実態把握に取り組んでいき  
ます。その過程において孤独死の定  
義をしてまいります」と前向きな姿  
勢を明らかにしました。

# 日本国憲法の力を 発揮するとき



憲法記念日に竹ノ塚駅東口で演説する伊藤区議 5月3日



5月3日は、日本国憲法施行63周年の記念日でした。今年の  
憲法記念日は、昨年「政治を変えよう」と国民の願いが国民自身

の力で政権の交代が実現しました。しかし、「政治は良くなっただろうが、ひど  
くなった」「期待はずれ」と言う声が寄せられています。公約を先送りにし高齢  
者の医療差別はそのまま。沖縄では普天  
間基地の「移設先探し」が迷走、混乱し

基地の「県内押しつけ」、島民ぐるみで「基地はいらない」の9  
万人県民大集会。この声を踏みにじることは絶対に許されないこ  
と。無条件撤去を求め、憲法を暮らしに生かし平和とくらし守る  
政治を前にすすめるなかで迎えました。

## 憲法9条ってなあに?

私は東京生まれ  
東京育ち、1歳の  
ときに父は太平洋  
戦争で戦死したの

で父親の顔を知りません。東京大空襲で多くの親戚を失いました。

日本国憲法は2度と戦争をしないことを世界に誓い、ヒロシマ、  
ナガサキを繰り返さない思いを込めて制定され戦後60年以上、  
日本が戦争することに歯止めとなってきました。すばらしいこと  
です。紛争の解決は軍力ではなく、平和的解決。だから今こそ、  
憲法9条を持つ日本に米軍基地はいらないのです。憲法の力を発  
揮するとき、連日活動しています。(伊藤 和彦)

憲法9条は【戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認】 日本国  
民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し国権  
の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際  
紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄する。 前項  
の目的を達成するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保  
持しない。国の交戦権は、これを認めない。

## 憲法25条は?

憲法25条【生

存権、国の社会的使命】 すべての国民は、健康で文化的な  
最低限の生活を営む権利を有する。 国は、すべての生活面  
について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進  
に努めなければならない。

テレビ東京・出没アドマチック  
ク天国【5月8日土曜日夜】  
放映

## 足立区花畑の まちを紹介

近所の方や子どもたちから、5  
月8日、チャンネル花畑が放送  
されるよ」と聞いていたのでその  
番組を見ました。私たちの花畑事  
務所のそばの「クレッシヨン」  
「オーロール」「マッカ」など知っ  
ているお店がテレビに写るとより  
親しみを感じました。

- 番組のベストテン(10)は、
- 1位が大鷲神社 2位花畑公園
  - 3位南花畑パークウーヘン・島田
  - 製菓 4位南花畑の車検場 5位
  - 旭染工 6位袋袋ピオトープ公園
  - 7位 ハルエ・グレース 8位スー
  - パー・ベルクス 9位佐藤賢平・
  - 板金 10位 花畑団地・正華が
- 紹介され、知っている人が写り、  
花畑の街が広く知らされて良いこ  
とだと楽しみました。しかし内容  
が良いのに番組名「陸の孤島に昭  
和の下町足立花畑」と、「陸の  
孤島」とはいかがなものか。